

令和6年度札幌市文化芸術創造活動支援事業 採択事業者の活動概要（R7.2.25作成）

当該資料をご覧いただく方へ

こちらの資料は令和7年度札幌市文化芸術創造活動支援事業へのご応募を検討いただいている方に向けて、どのような事業が採択され、活動しているのかをお伝えするために補助事業終了前の段階で作成しました。

従いまして、現時点では活動の終了に至っていない事業者もおり、なおかつ資料に掲載している情報が最新ではない部分もございますので、ご了承願います。

令和6年度採択事業者について

以下の計6団体が採択され、活動を実施することとなった。

区分	採択事業者名	事業名称
新たな創造活動 (補助：300万円)	一般社団法人A I Sプランニング	文化芸術活動を通じたコ・クリエーション事業
社会連携 公募型 (補助：200万円)	特定非営利活動法人コンカリーニョ	こどもとアーティストを繋げるプロジェクト
	CO LA (Community Dance Laboratory Sapporo)	公募ダンサーによるコミュニティダンスを通じた社会的処方の実践事業
社会連携 事業型 (補助：100万円)	札幌OS物流株式会社	障がい者の自立と社会貢献を支援するトラックアートプロジェクト
	シュウカツ実行委員会	シュウカツ／周活
	meets AYNU 実行委員会	meets AYNU 2025

一般社団法人AISプランニング

文化芸術活動を通じたコ・クリエーション事業

創造活動を実施する担い手としてのアーティストへのサポートと、創造活動を様々な分野に接続・発信するコーディネーターの育成を同時に行う事業を行う。

アーティストの創作活動を通じた新たな価値創造支援プロジェクト

創作活動における新たな挑戦(自身のステップアップ、キャリアアップにつながる創作活動等)や異なる分野との交流活動をプロジェクト型で公募し、採択されアーティストに対しコーディネーターが伴走型支援を行いながらプロジェクトの達成を目指す。

コーディネーター育成プロジェクト

専門講師による研修、活動現場の見学、実践的コーディネート業務の3つを柱に、アーティストの活動を支える中間支援人材を発掘・育成する。

一般社団法人AISプランニング

アーティストの創作活動を通じた新たな価値創造支援プロジェクト

8/4 (日)	公募説明会 を実施
~8/20 (火)	公募終了
~9/7 (土)	採択事業者の選考実施
9/11 (水)	採択事業者を公表
9月下旬~10月上旬	採択事業者と個別MTG
~10月下旬	不採択となった事業者に対して、個別にフィードバック を実施

札幌市文化芸術創造活動支援事業の採択事業者が事業を紹介できる場も設けられた。

1次審査（書類審査）23件
2次審査を経て採択 4件

採択・不採択どちらの場合も
何らかの形でアプローチを実施

→ 10月以降、採択事業者は活動を本格化

一般社団法人AISプランニング

アーティストの創作活動を通じた新たな価値創造支援プロジェクト（審査員一覧）

審査員

当該選考については、以下の審査員により実施。

- 進藤冬華(アーティスト)
- 宮崎隆志（北海道文教大学人間科学部地域未来学科）
- 佐野和哉(株式会社トーチ代表)
- 漆崇博、小林亮太郎(一般社団法人AISプランニング)
- 札幌市文化部職員

審査基準

- 文化芸術活動としての期待や新たなチャレンジ、異分野交流における活動の実現可能性についての評価
- 社会教育、生涯教育、福祉的な観点による活動の意義や社会的な価値についての評価
- 観光・商業分野との新規事業開拓、ブランド企画/開発等社会的価値の創造の実現可能性についての評価
- 札幌市の創造活動支援事業として、その指針に適した活動であるかどうかについての評価

一般社団法人AISプランニング

アーティストの創作活動を通じた新たな価値創造支援プロジェクト（採択事業者一覧）

鈴木 悠哉

苗穂地域を中心に町工場で排出される廃棄素材をリサーチし、それをアーティストの作品に転化できないか、又は町工場の技術を活用できないかをリサーチ&アーカイブ化する活動。

実際に廃材等を用いた展示制作も実施している。

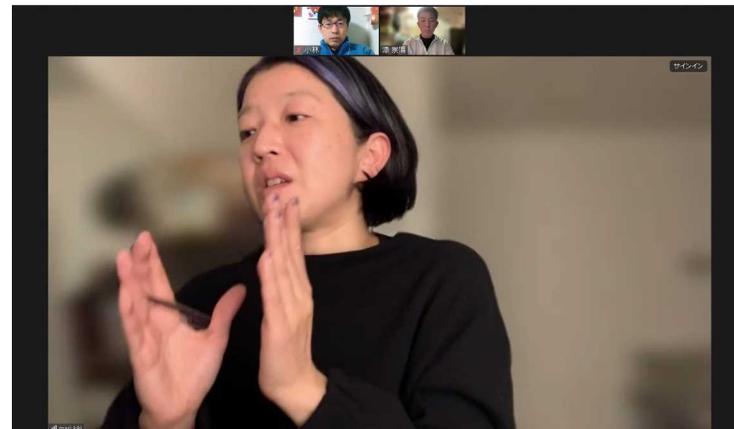


写真右側が鈴木さん

きたまり

古代ギリシアの喜劇作家アリストパネスによる戯曲『女の平和』をモチーフに作品を制作予定。若年層を対象にしたワークショップ（WS）や作品制作に向けた勉強会を実施予定。

補助期間中はWS実施に向けたリサーチや大人向けWSのテスト実施を準備・実践する等の活動を行っている。



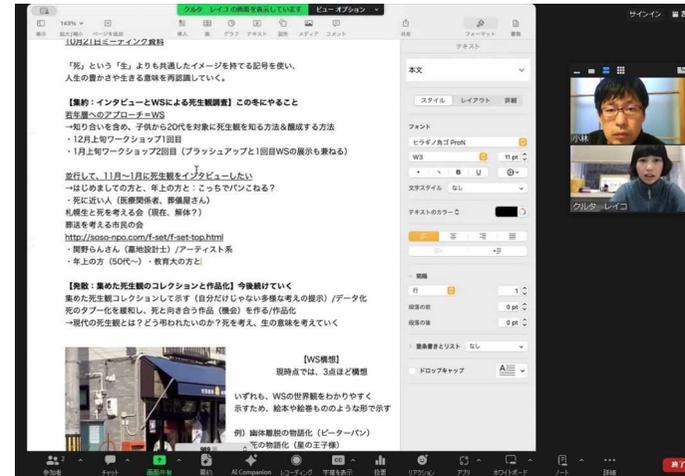
一般社団法人AISプランニング

アーティストの創作活動を通じた新たな価値創造支援プロジェクト（採択事業者一覧）

来田 玲子

死生観についてリサーチ・創作活動を行う中で、「生の豊かさ」について探る試み。死生観に関するインタビューや、ワークショップの実施を想定していたが、12月3日から8日にかけて実際にイベントを実施。

その後も、様々な機会死生観に関するリサーチを重ねている。



宮本 一行

これまで自身で行ってきた、自然環境の中で音を探り、録音し作品化する活動を様々な人々を巻き込んで実施する取組み。

街中や公園を歩き、面白いと思った音を録音していく「アクティブ・サウンドウォーク」を行い、市民を交えたイベントや文化芸術活動を実践している。



写真中央が宮本さん

一般社団法人AISプランニング

コーディネーター育成事業

8/4 (日) ~8/20 (火)	説明会及び公募期間
9月中旬	対象者決定
9/17 (火)	打ち合わせ・応募者同士の交流会
10/23 (水)	講座① (SIAFラウンジ)
11/15 (金)	講座② (SCARTSコート)
12/12 (木)	別団体とコラボしたスピノフ講座
12/22 (日)	講座③
1/26 (日)	講座④※講座最終回※

このほか、下記のような取組みを並行して行い、当該事業を進めている。

・コーディネーター育成事業参加者に対して、直近事業の進捗や今後のイベント情報を共有する「コーディネーター育成メール」を配信

・AISプランニングが実施している「おとどけアート」の現場に左記対象者を実際に参加してもらい、学びの機会を創出



写真は講座①の様子

特定非営利活動法人コンカリーニョ

こどもとアーティストを繋ぐアート教育ネットワーク事業

中間支援団体、アーティスト、教育者が連携して学校や劇場という場所を通して子どもの文化芸術機会を作り続けること、そのための仕組みをつくることを目指す。

本企画はこどもとアートを繋ぐ3プログラムで構成

こどものアート体験と居場所作り



アーティストが講師となり、ワークショップなどを通してこどものコミュニケーション能力や創造性を育むと共に、こどもたちの居場所作りに繋げる体験型プログラム。

アーティストの勉強会



こども事業の経験値が高いアーティストを招聘し、札幌のアーティスト向けに勉強会を開催する。

ネットワークを育むカンファレンス



教育現場の課題を共有し、教育者とアーティストのネットワークや環境づくりに繋げるプログラム。

特定非営利活動法人コンカリーニョ

子どもアート体験「放課後アート秘密基地」

中間支援団体、アーティスト、教育者が連携して学校や劇場という場所を通して子どもの文化芸術機会を作り続けること、そのための仕組みをつくることを目指す。

イベント日程及び採択アーティスト等（15組のアーティストから申請あり）

※ 審査に当たっては、こども審査員（2名）が参加しアーティストを選定。

時期	内容	アーティスト
10/1（火）	手や足に絵の具をつけて遊びながら全身で絵を描こう	Humming Earth Project （ダンサーとギタリストのユニット）
10/8（火）	色が混ざらない不思議な絵の具でポーリングベアを作ろう	OneTreasure
10/15（火）	サビに合わせて新聞紙をパン！フリーダムに音で遊ぼう	名越梨紗（フルート奏者・パフォーマー）二胡と うた凜子（二胡奏者）
12/3（火）	○△□語でしゃべろう	山本 謙（声と動きの即興パフォーマー）
12/17（火）	クリスマスの香りを作ろうお土産アロマ付き	Aroma stylist Mika（調香師）
1/7（火）	ラジオ番組を作ってみよう	アーティスト：小林なるみ（俳優／ナレーター） 甲斐大輔（俳優／講師）

特定非営利活動法人コンカリーニョ

アートと教育☆ゆるり勉強相談会

当該アートプロジェクトに参加するアーティスト等が教育現場で活躍する先輩アーティストとお話をする場。
気になっていることを聞いても、相談に乗ってもらっても良いというフラットな話し合いの場

開催日時

9/12 (木) 19:00~21:30

後半は1/18 (土) 11:00~13:00

相談役

んまつーポス (宮崎県/専門分野ダンス/全員が教員専修免許状を取得、創作ダンス・体育教育のスペシャリスト)



特定非営利活動法人コンカリーニョ

アートと教育カンファレンス

アートの良いところを多分野に活かして、より良い社会にしていきたい！ということをもとに、ぼんやりとした目標に掲げて、教育とアートのしゃべり場を設定。子どもや若者支援・育児や教育などに取り組んでいる皆さんと語り、アートと教育のネットワークを広げることも目指した場

開催日時

11/2 (土) 13:00~16:00

後半は1/18 (土) 14:30~16:30

相談役

教育関係の有識者と前期参加アーティストによる
カンファレンス

○ 前期カンファレンス参加有識者

穴澤義晴 氏
(特定非営利活動法人コミュニティワーク研究実践センター 理事長)

新藤理 氏
(NPO法人フリースクール札幌自由が丘学園 理事/音楽家)

野沢宏志 氏
(芸術家 / I.M.A Labo代表 / 村上進学塾STEAM教育実践者)

三上愛 氏
(イロドリ代表/言語聴覚士/保育士)



特定非営利活動法人コンカリーニョ

子どもアート体験「放課後アート秘密基地」

10/1イベントの状況（手や足に絵の具をつけて遊びながら全身で絵を描こう）



特定非営利活動法人コンカリーニョ

子どもアート体験「放課後アート秘密基地」

10/8イベントの状況（色が混ざらない不思議な絵の具でポーリングベアを作ろう）



特定非営利活動法人コンカリーニョ

子どもアート体験「放課後アート秘密基地」

10/15イベントの状況（サビに合わせて新聞紙をパン！フリーダムに音で遊ぼう）



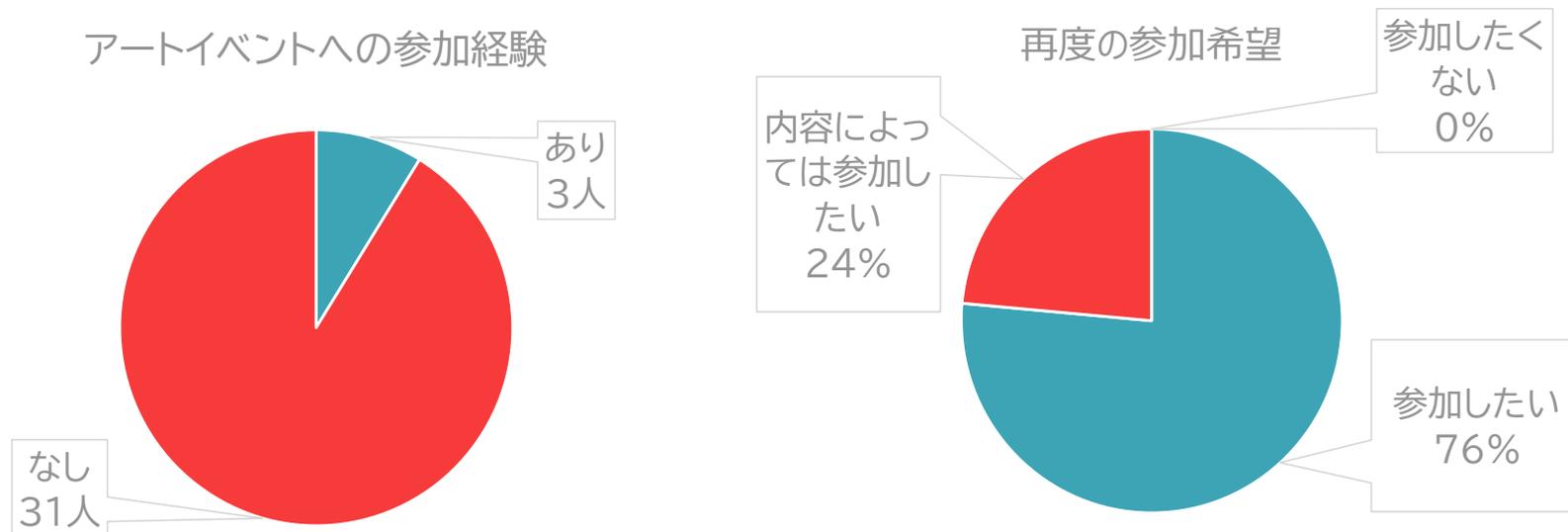
特定非営利活動法人コンカリーニョ

子どもアート体験「放課後アート秘密基地」

10/1、10/8、10/15開催の保護者アンケート結果（抜粋）

Q1. 今日のようなアート体験やアートイベントに過去参加したことはありますか？

Q2. このような機会があればまた参加したいですか？



○ 9割以上が新たな参加者であり、多くの参加者が再度の参加を望んでいる。

⇒ 参加者の行動変容に繋がる取組と評価できるものと認識。

特定非営利活動法人コンカリーニョ

子どもアート体験「放課後アート秘密基地」

10/1～12/3までの参加アーティストアンケート（抜粋）

Q.本事業に参加して、今後の活動に影響のある新たな気付き等がありましたか？

共同WSのやり方の
学びになった

アーティストとして
教育現場に関わる意
味など色々気付いた

これまでのパフォー
マンスだけでなく、
こうしたWSにも積
極的に取り組みたい

WSも公演づくりと
手順が同じと気づき、
劇場を飛び出して
色々なことができる
と体感できた

普段より個人と関わ
ることができ、新た
な発見ができた。

自分が長らく考えて
いた問題が独りよが
りなものではないと
気づけたことがうれ
しかった。

○ これまで9名のアーティストが参加。全アーティストが何らかの気付きを得ているとの回答。

⇒ アーティストの今後の活動にも好影響を与えていると評価できるものと認識。

※ これまでのアートによる社会連携の有無は6/9、今後行いたいのは9/9。教育に限らず、様々な連携を希望しているアーティストが多く、担い手の可能性も感じる結果に。

公募ダンサーによるコミュニティダンスを通じた社会的処方の実践事業

札幌を拠点として活動するダンサーを公募し、医療・福祉・教育分野を中心とする団体と連携したコミュニティダンスの実践をサポート。そして、当該実践を医療に端を発する「社会的処方」の枠組みで展開し、継続性のある仕組みの構築及び発展を目指す。



画像引用元：People Dancing Webページ
<https://www.communitydance.org.uk>



※上記画像は事業者より提出いただいた資料から引用

公募ダンサーによるコミュニティダンスを通じた社会的処方の実践事業

札幌を拠点として活動するダンサーを公募し、医療・福祉・教育分野を中心とする団体と連携したコミュニティダンスの実践をサポート。そして、当該実践を医療に端を発する「社会的処方」の枠組みで展開し、継続性のある仕組みの構築及び発展を目指す。

状況

- 9/30に採択委員会開催し、ダンサーを決定
- 保育所、放課後等デイサービス、障害者グループホームで実践

★ 採択委員 & アドバイザー

氏名	所属等
森嶋拓	CONTE Dance Production/ダンス企画プロデューサー
千代その子	一般社団法人ダンストーク代表
阿比留修一	セレノグラフィカ/ダンサー・振付家
稲田奈緒美	桜美林大学教授

今後のスケジュール

- 11～1月 事業実施
- 12～1月 アーティスト等へのインタビュー
- 2/15 (土) 報告会実施

その他

- 関わっていただいている有識者の方々からのアドバイスを受けながら事業を実施

公募ダンサーによるコミュニティダンスを通じた社会的処方の実践事業

実施スケジュール

○ウィルツ幸子さん：障害者グループホーム「ウェルネス南平岸」（利用者8名）

「ウェルネス南平岸駅前」（利用者8名）

実践日：11～12時 11/3、10、17、24、12/1、15、22



公募ダンサーによるコミュニティダンスを通じた社会的処方の実践事業

実施スケジュール

○南 愛佳さん：障害者グループホーム「ウェルネス美園」（利用者13名）

実践日： 10:30～11:30 11/8、15、22、29、12/13、20、27



公募ダンサーによるコミュニティダンスを通じた社会的処方の実践事業

実施スケジュール

○タイラハルカさん：保育所「きずな麻生保育園」

*縦割り保育の3、4、5歳児で、その中で興味がある子が参加（26名前後）。

実践日： 10:00～11:00

11/26、12/9、16、23、1/14、20、27



公募ダンサーによるコミュニティダンスを通じた社会的処方の実践事業

実施スケジュール

○谷口美和子さん：放課後等デイサービス「こどもサポートりんく新琴似北園」

* 放課後等デイサービス利用の子どもたちへの実践（8名前後）。

実践日：16:00～17:00

11/25、12/2、12/9、12/16、12/23、1/20、1/27



札幌OS物流株式会社

障がい者の自立と社会貢献を支援するトラックアートプロジェクト

障がい者アートをトラック壁面（両サイド）に印刷し、障がい者アートの社会的な認知向上を目指す。

札幌OS物流株式会社考える事業の効果

障がい者の作品（パリンアート）をトラックにデザインする



トラックが走ることで作品を見てもらえる機会が増える



下記のような効果が期待される

- ・障がい者の自立を支援できる
- ・多くの人々の目に触れ、障がい者支援のメッセージを発信
- ・ドライバー自身の安全意識向上
- ・子どもたちへの障がい者に対する理解と共感の向上

札幌OS物流株式会社

障がい者の自立と社会貢献を支援するトラックアートプロジェクト

実施状況

- 9月に当該補助によるトラックデザイン完成
- 1台目ができることをきっかけに荷主と協力し、荷主の広告を入れることで現在3台まで拡大。
- 1台目は11トン、2台目は4トン、3台目は2トン
- 10/18（金）～20（日）に開催される「いきいきウェルネスフェア」へ札幌市文化部の事業としての出展（出展日は19日・20日の二日間）



1台目左側面



1台目右側面



2台目



3台目

meets AYNU 2025

アイヌの音楽、踊り、歌だけでなく、体験型のワークショップやアイヌの食に関する展示、アイヌ文化についての相談会などを同時開催することで大人も子どももアイヌ文化をゆるりと体験できる1日とする。

イベント概要

日時 1/25（土）13：00～19：00頃

会場 シアターZOO（中央区南11条西1丁目）

コンテンツ

- ・ しょくLab.展示
- ・ アイヌ文化活用相談会
- ・ アイヌ舞踏ワークショップ
- ・ スペシャルライブ（ライブのみ有料、1名2,000円）

meets AYNU 実行委員会

meets AYNU 2025

アイヌの音楽、踊り、歌だけでなく、体験型のワークショップやアイヌの食に関する展示、アイヌ文化についての相談会などを同時開催することで大人も子どももアイヌ文化をゆるりと体験できる1日とする。

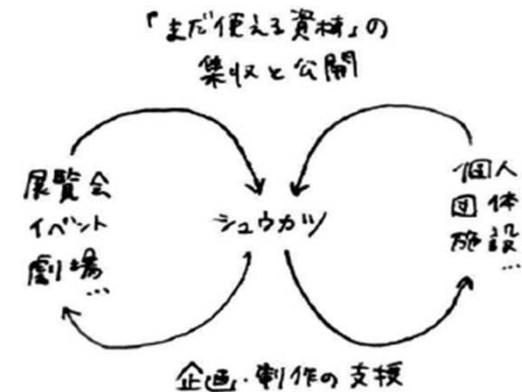
イベント写真



シュウカツ実行委員会

シュウカツ/周活

美術館や劇場、大学、民間企業等と連携を行い、展覧会やイベントで廃棄される予定の資材を回収し、別の展覧会やイベント、アーティストの制作のために提供する、継続的な文化インフラの構築を目指す。



※上記画像は事業者より提出いただいた資料から引用

シュウカツ実行委員会

シュウカツ/周活

シュウカツ実行委員会においては、①シュウカツとしての素材回収・提供事業の継続実施 ②事業に係る普及・広報活動 ③他団体・事業者とのコミュニケーション の3点について取り組んでおり、特に①は継続的に実績を積み上げている。

① 素材の回収・提供 (kg)

時期	R6年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
回収	-	2,632	45	0	1	46	32	236	203	86	28	0	3,309
提供	-	787	55	36	41	259	130	19	34	6	87	23	1,477

補足) R6.1月～6/17までは補助対象期間前に実施していた事業の数値を掲載。また、R6.12月は1週目時点の数値。

資材回収例



説明)
芸術デザイン専門学校の方から提供されたワークショップで使用した10メートル四方のブルーシート



説明)
ブライダル関係の印刷業者から提供された、額縁、用紙やカッティングシート等

シュウカツ実行委員会

シュウカツ/周活

② 普及・広報

実施済

- ・ステッカー作成、SNS運用（資材の在庫状況が分かるwebサイト作成を検討したが、現状ではSNS運用で十分と判断）

今後

- ・演劇系利用者の拡大に向けた検討
- ・11月 事業記録集作成開始
- ・12月 アートワークショップ実施予定



活動の様子

演劇系利用者の拡大に向けたヒアリングとしてNPO法人コンカリーニョを訪問し、聞き取り調査を実施。

③ コミュニケーション

- ・札幌市環境局の担当者とシュウカツで扱う資材の定義について意見交換（廃棄物か有価物か等）
- ・苗穂エリアや天神山滞在アーティストとの交流で利用者拡大
- ・9月実施の京都マテリアルヤードへの参加
- ・武蔵野美術学院及び所属講師との交流
- ・(株)ノーザンクロスをはじめとする、地域のまちづくりやアート関連事業者との交流



活動の様子

これまでの活動をきっかけに、京都市や（公財）京都芸術文化協会等が主催する「KYOTO MATERIAL YARD」のトークイベントに登壇。



イベントロゴは公式HP (https://utsuwa-kyoto.com/kyoto_material_yard) より引用